

資料 1

平成28年度 山口県後期高齢者医療制度の状況について

山口県後期高齢者医療広域連合事務局

業

務

課

1 被保険者数の状況

平成28年度の被保険者数は232,210人で、前年伸率は2.16%、全人口に占める割合は16.7%となっている。

被保険者数等の推移は図1のとおりで、75才以上人口と同様にこれまで年々増加している。今後の75才以上の推計人口は、団塊の世代が75才以上となる平成37年には27万8千人となり、平成42年には28万3千人でピークを迎える。

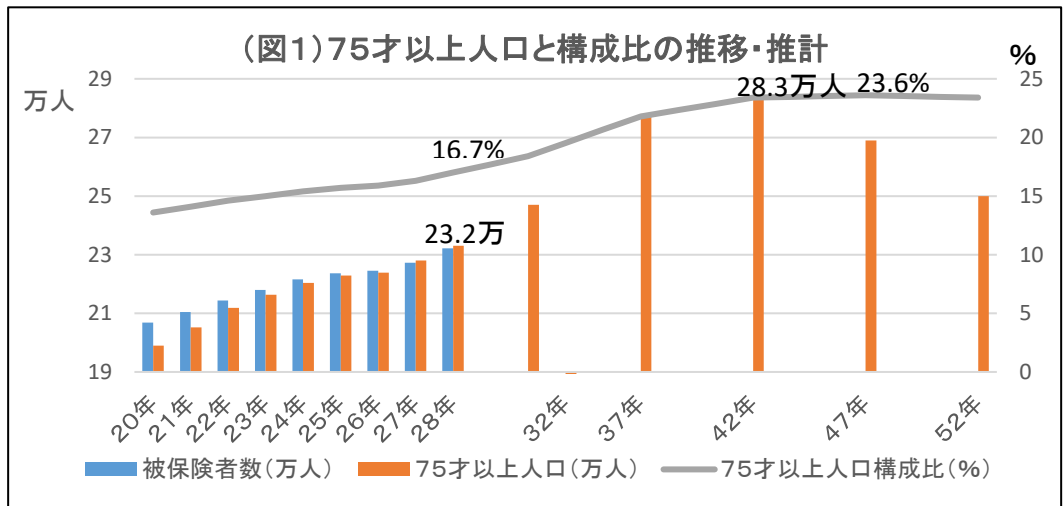
全人口に占める割合は、平成47年にピークとなり23.6%と推計される。

(表1) 被保険者数の推移

	山口県			全国		
	被保険者数 (3～2月平均)	伸率	全人口に 占める割合	被保険者数 (3～2月平均)	伸率	全人口に 占める割合
	人	%	%	人	%	%
20年度	206,830		14.1	13,210,116		
21年度	210,395	1.72	14.5	13,615,897	3.07	
22年度	214,381	1.89	14.8	14,059,915	3.26	11.0
23年度	218,020	1.70	15.1	14,483,835	3.02	11.3
24年度	221,574	1.63	15.5	14,904,992	2.91	11.7
25年度	223,676	0.95	15.8	15,266,362	2.42	12.0
26年度	224,542	0.39	15.9	15,545,307	1.83	12.2
27年度	227,294	1.23	16.2	15,944,315	2.57	12.5
28年度	232,210	2.16	16.7	16,457,826	3.22	13.0

※被保険者数は、「後期高齢者医療事業年報」(表1 関係)

※割合の全人口は、総務省統計局人口推計の10月1日現在



(表2) 75才以上の推計人口

単位: 千人

	22年	27年	32年	37年	42年	47年	52年
山口	212	228	247	278	283	269	250
全国	14,194	16,458	18,790	21,786	22,784	22,454	22,230

※ 数値は、国立社会保障・人口問題研究所の平成25年3月推計

※ 団塊の世代が75歳以上となるのは37年(2025年)

2 医療費及び給付費の状況

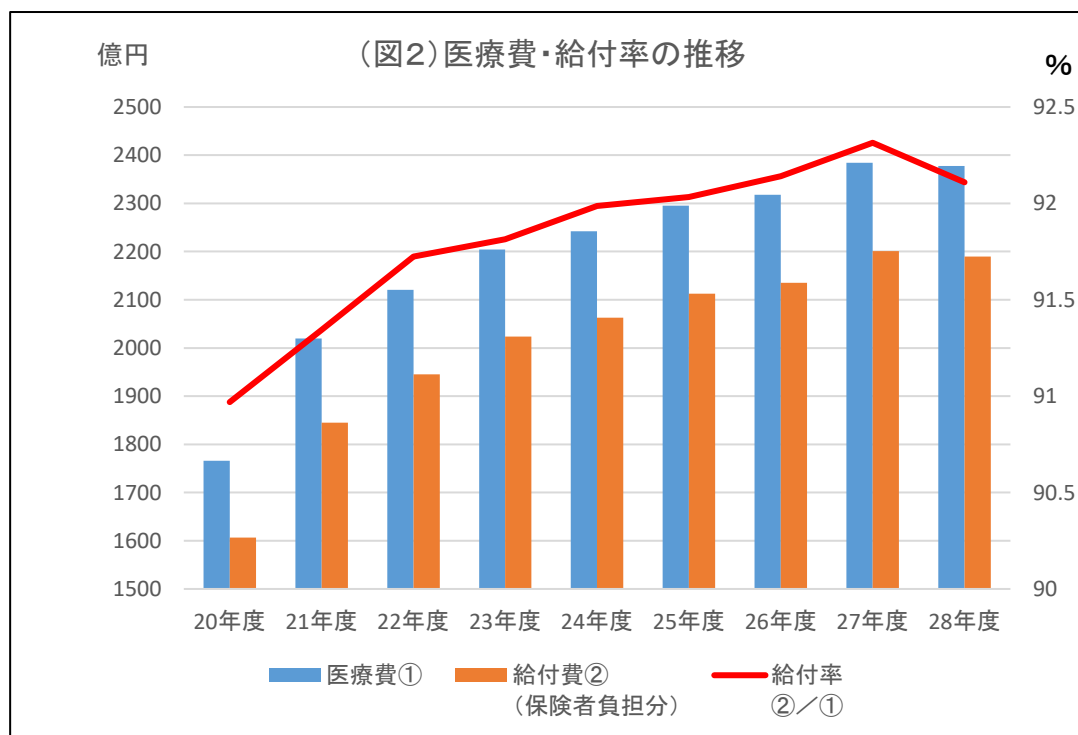
医療費及び給付費はこれまで年々増加にあったが、平成28年度は初めて減少に転じ、それぞれ237,756百万円(対前年△0.3%)、218,994百万円(対前年△0.5%)となった。

給付率についても年々増加傾向にあったものが、平成28年度については92.1%と減少した。

(表3)年度別医療費及び医療給付費)

年度	医療費①	伸率	参考 全国伸率	給付費② (保険者負担分)	実質一部負担金	給付率 ②／①	参考 全国の 給付率
	千円	%		千円	千円	%	
20年度	176,574,000	—		160,627,832	15,946,169	91.0	91.2
21年度	201,961,799	14.4	5.2	184,478,569	17,483,230	91.3	91.3
22年度	212,066,200	5.0	5.9	194,517,439	17,548,761	91.7	91.6
23年度	220,396,113	3.9	4.5	202,355,489	18,040,625	91.8	91.8
24年度	224,231,538	1.7	3.0	206,264,519	17,967,019	92.0	92.0
25年度	229,517,803	2.4	3.6	211,232,953	18,284,850	92.0	92.0
26年度	231,760,007	1.0	2.1	213,544,959	18,215,048	92.1	96.0
27年度	238,393,785	2.9	4.4	220,071,832	18,321,953	92.3	92.2
28年度	237,756,002	-0.3	1.6	218,994,155	18,761,847	92.1	92.1

※数値は「後期高齢者医療事業年報」表3関係



3 一人当たり医療費の状況

一人当たり医療費についても、これまで合計・入院・入院外・調剤・歯科の全てにおいて増加傾向となっていたが、平成28年度は初めて減少に転じ、対前年比は合計△2.4％・入院△1.8％・入院外△3.6％（内、調剤で△5.9％）となっている。（表5参照）

平成27年度一人当たり医療費の状況は次のとおりである。

・合計	1,048,833円	（伸率1.6％、全国10位、全国を100％とした場合の比率111％）
・入院	578,681円	（伸率0.5％、全国8位、 〃 126％）
・入院外	432,918円	（伸率3.1％、全国21位、 〃 98％）
・歯科	28,297円	（伸率1.4％、全国20位、 〃 86％）

（表4）

年度	山口県一人当たり医療費（円）											
	順位	計	順位	入院	順位	入院外			順位	歯科	順位	その他
							順位	内、調剤				
20	12	937,883	10	521,345	18	386,869		-	24	22,822	35	6,847
21	11	959,920	10	533,709	20	395,735		-	24	23,136	33	7,340
22	11	989,205	10	557,929	20	399,265	15	143,077	23	24,273	34	7,737
23	10	1,010,901	10	564,824	17	412,476	14	153,083	21	25,496	35	8,105
24	10	1,011,992	10	568,345	20	408,934	15	152,036	21	26,435	36	8,277
25	9	1,026,119	8	572,309	19	417,992	16	160,849	20	27,309	35	8,509
26	10	1,032,146	8	575,640	20	419,856	15	164,090	20	27,896	37	8,754
27	10	1,048,833	8	578,681	21	432,918	16	174,138	20	28,297	37	8,936
28		1,023,884		568,161		417,171		163,901		29,467		9,085

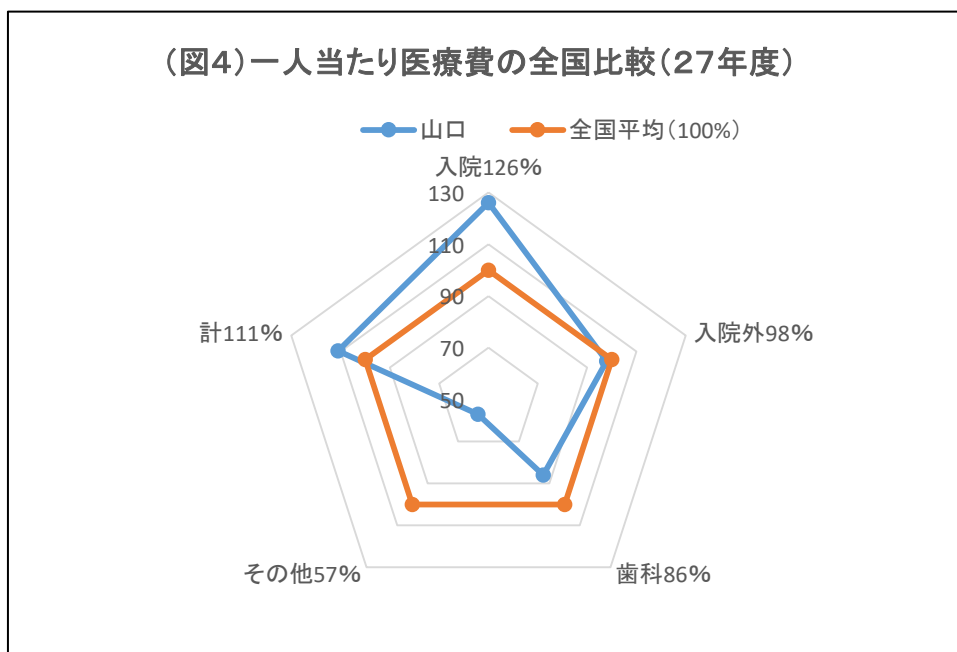
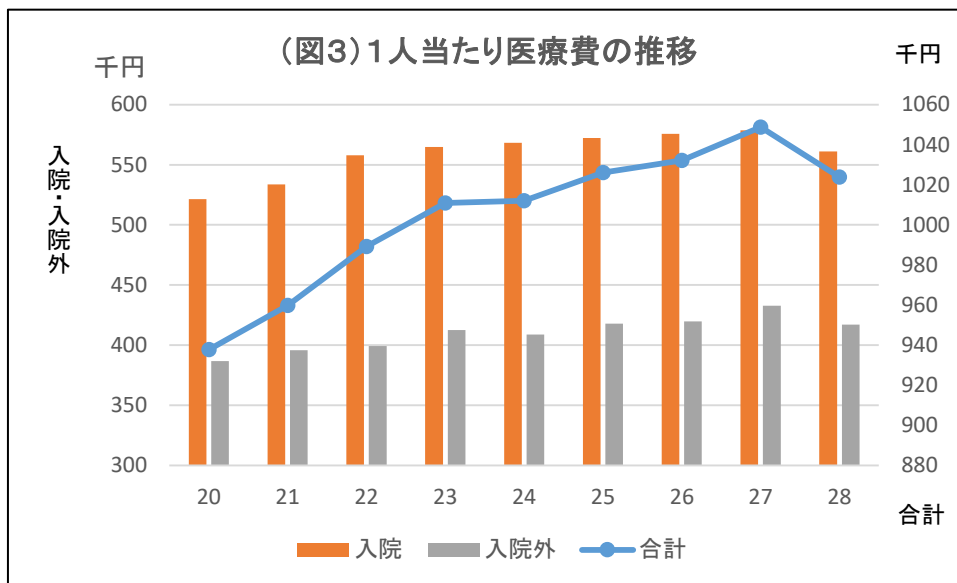
※数値は、「後期高齢者医療事業年報」（表8関係）

（表4-1）

年度	全国一人当たり医療費（円）											
	順位	計	順位	入院	順位	入院外			順位	歯科	順位	その他
							順位	内、調剤				
20		865,146		430,927		394,616		-		26,704		12,899
21		882,118		437,020		404,653		-		27,181		13,264
22		904,795		455,232		407,436		139,622		28,342		13,785
23		918,206		457,024		417,488		148,363		29,435		14,259
24		919,452		456,911		417,645		148,347		30,336		14,560
25		929,573		456,062		427,622		155,885		31,158		14,732
26		932,290		457,639		427,566		157,528		31,951		15,134
27		949,070		459,585		441,140		167,448		32,772		15,544

(表5)

年度	一人当たり医療費対前年度比(%)											
	合計		入院		入院外 (内、調剤)				歯科		その他	
	山口県	全国	山口県	全国	山口県	全国	山口県	全国	山口県	全国	山口県	全国
20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	2.3	2.0	2.4	1.4	2.3	2.5	-	-	1.4	1.8	7.2	2.8
22	3.1	2.6	4.5	4.2	0.9	0.7	-	-	4.9	4.3	5.4	3.9
23	2.2	1.5	1.2	0.4	3.3	2.5	7.0	6.3	5.0	3.9	4.8	3.4
24	0.1	0.1	0.6	0.0	-0.9	0.0	-0.7	0.0	3.7	3.1	2.1	2.1
25	1.4	1.1	0.7	-0.2	2.2	2.4	5.8	5.1	3.3	2.7	2.8	1.2
26	1.6	1.8	0.5	0.4	3.1	3.2	6.1	6.3	1.4	2.6	2.1	2.7
27	1.6	1.8	0.5	0.4	3.1	3.2	6.1	6.3	1.4	2.6	2.1	2.7
28	-2.4		-1.8		-3.6		-5.9		4.1		1.7	



4 保険料の収納状況

平成28年度の収納額は16,309,656千円で、前年に比べ6.5%増となっている。

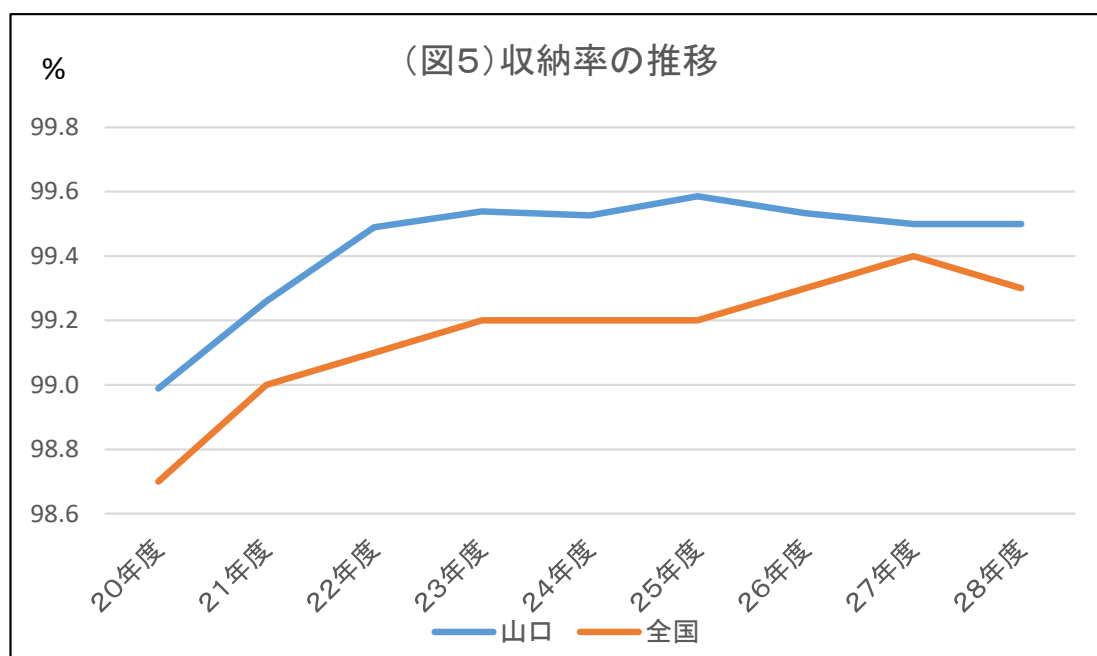
収納額の年度推移は平成27年度で一旦減少となったが、平成28年度は増加に転じている。

収納率の年度推移は、図5のとおり平成22年度以降、横ばいとなっており、全国平均を上回っている。

表6 保険料収納状況(現年分)

	調 定 額		収 納 額		順位	収納率 %	参考) 全国平均 収納率 %
	計	特別徴収 (再掲)	計	特別徴収 (再掲)			
	千円	千円	千円	千円			
20年度	13,828,987	9,506,526	13,689,199	9,506,526	21	99.0	98.7
21年度	13,971,237	9,025,701	13,867,767	9,025,701	15	99.3	99.0
22年度	13,872,428	9,498,990	13,801,531	9,498,990	5	99.5	99.1
23年度	13,992,030	9,556,682	13,927,473	9,556,682	6	99.5	99.2
24年度	15,066,926	9,874,122	14,995,553	9,874,122	9	99.5	99.2
25年度	15,071,032	9,843,121	15,008,646	9,843,121	4	99.6	99.2
26年度	15,741,477	9,993,097	15,667,972	9,993,097	10	99.5	99.3
27年度	15,381,040	9,544,579	15,307,621	9,544,579	10	99.5	99.4
28年度	16,387,438	10,011,312	16,309,656	10,011,312	10	99.5	99.3

※数値は、「後期高齢者医療事業年報」(表4(1)関係)



5 一人当たり保険料の状況

平成28年度の一人当たり保険料は70,265円で前年度に比べ2,958円増加しており、その内訳は所得割が1,846円、均等割が1,112円増加しており、所得の上昇が影響している。

一人当たり保険料の推移は図6のとおりであり、所得割率及び均等割額は2年毎に増加しているものの、減額後の保険料はほぼ横ばいとなっている。

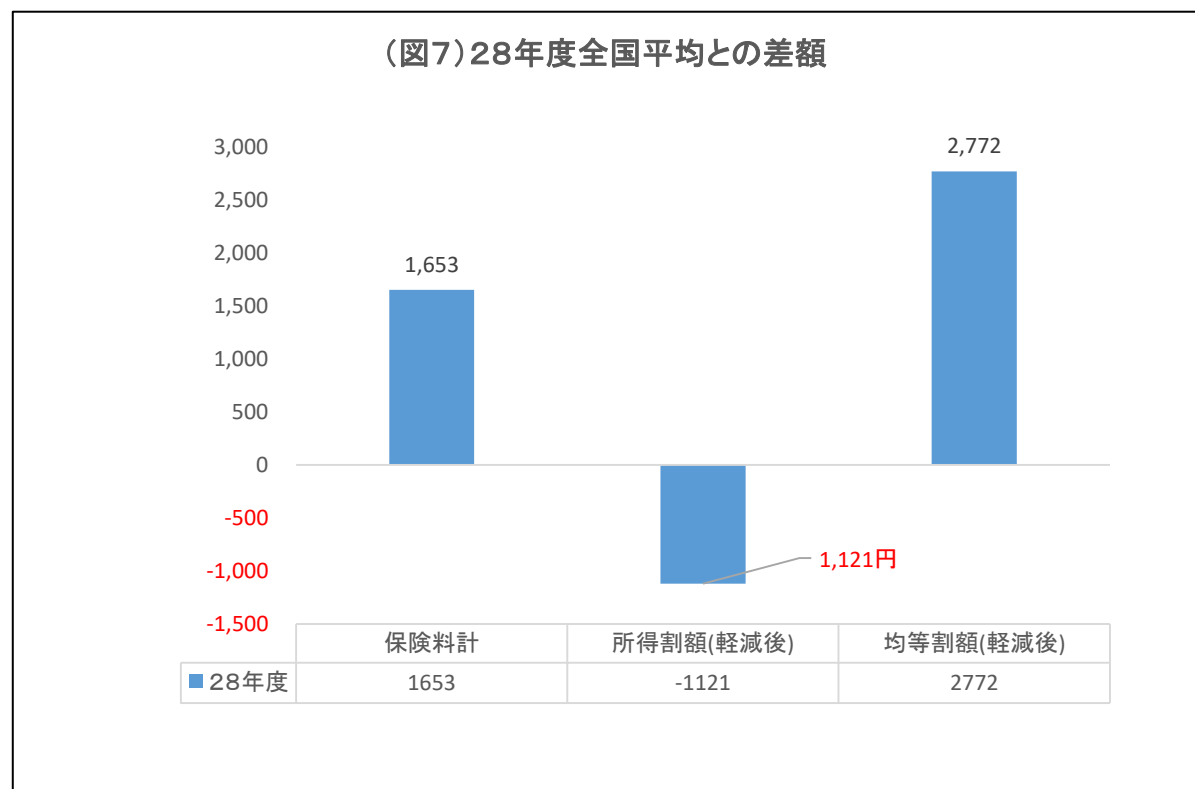
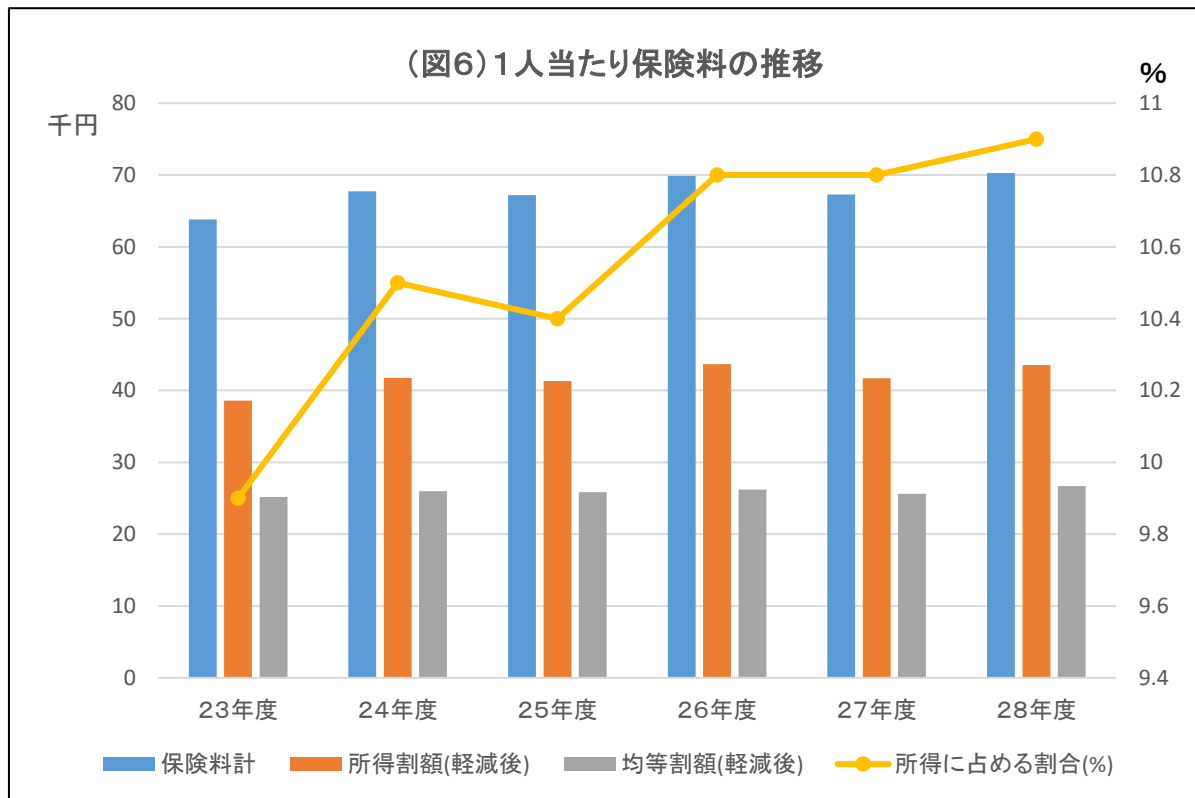
全国平均との比較は図7のとおりで、所得割額が△1,121円、均等割額が2,772円となっている。

(表7) 一人当たり保険料

年度	1人当たり所得額 ①(注2)				②/①	(参考) 所得割率	(参考) 均等割額
		計 ②	所得割額(軽減後)	均等割額(軽減後)			
	千円	円	円	円	%	%	円
山口①							
20年度	695	67,126			9.7		
21年度	668	65,624			9.8		
22年度	651	64,374			9.9	8.73	46,241
23年度	646	63,810	38,614	25,196	9.9	8.73	46,241
24年度	647	67,729	41,760	25,969	10.5	9.45	47,474
25年度	644	67,179	41,323	25,856	10.4	9.45	47,474
26年度	649	69,874	43,688	26,186	10.8	10.17	50,431
27年度	625	67,307	41,702	25,604	10.8	10.17	50,431
28年度	644	70,265	43,548	26,716	10.9	10.52	52,390
全国②							
20年度	887	63,977			7.2		
21年度	842	62,822			7.5		
22年度	796	63,083			7.9	—	—
23年度	798	62,659	39,807	22,852	7.9	…	…
24年度	797	66,715	42,772	23,942	8.4	…	…
25年度	799	66,689	42,610	24,078	8.4	…	…
26年度	830	68,318	44,320	23,998	8.2	…	…
27年度	804	66,738	43,069	23,668	8.3	…	…
28年度	828	68,612	44,669	23,944	8.3	…	…
差引①-②							
20年度	-192	3,149	0	0	2.4		
21年度	-174	2,802	0	0	2.4		
22年度	-145	1,291	0	0	2.0		
23年度	-152	1,151	-1,193	2,344	2.0		
24年度	-150	1,014	-1,012	2,027	2.1		
25年度	-155	490	-1,287	1,778	2.0		
26年度	-181	1,556	-632	2,188	2.6		
27年度	-179	569	-1,367	1,936	2.5		
28年度	-184	1,653	-1,121	2,772	2.6		

注1) 数値は「後期高齢者医療費制度被保険者実態調査報告」(表25関係)

2) 「1人当たり所得額」は、所得不詳の被保険者を除いて集計している。



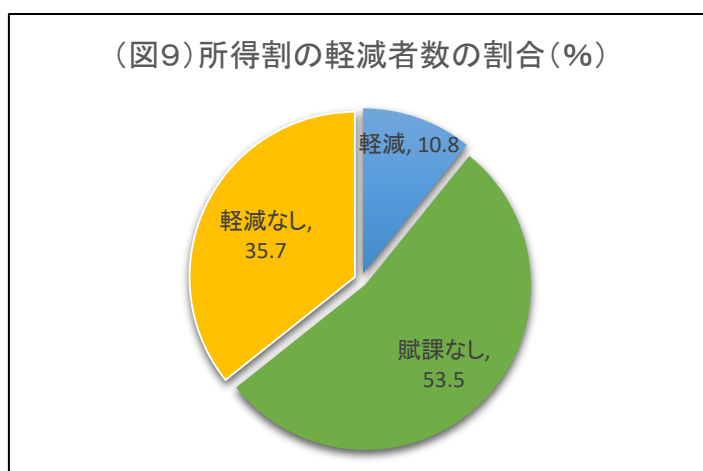
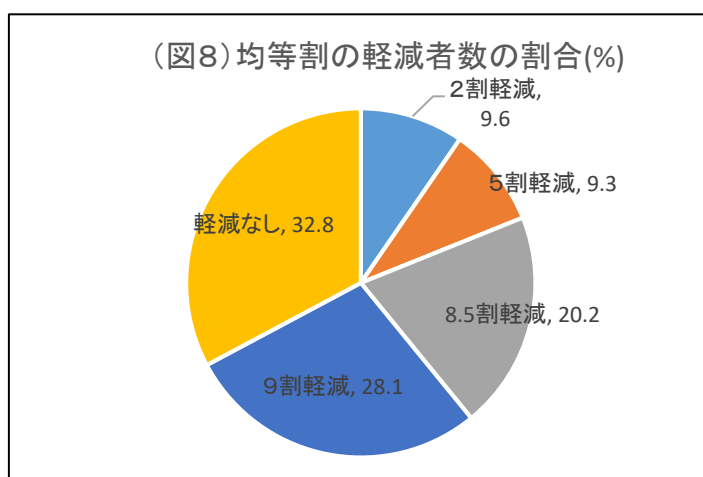
6 保険料の軽減等の状況

平成28年度の全被保険者数のうち、均等割については全ての者に賦課され軽減者は67.2%、軽減のない者は32.8%、所得割については賦課されていない者が53.5%で、軽減された者は10.8%、軽減されていない者は35.7%となっている。
保険料算定額に占める均等割額及び所得割額の割合はそれぞれ、49.7%、50.3%であり、うち、軽減等の割合はそれぞれ、24.3%、9.0%となっている。

(表8)軽減等被保険者の状況(平成28年)

全被保険者数			山口県	構成割合	全国	構成割合
			人	%	人	%
			232,323	100.0	16,475,939	100.0
均等割の内訳	全体		156,103	67.2	10,384,837	63.0
	均等割軽減被保険者数	2割	22,325	9.6	1,369,105	8.3
		5割	21,694	9.3	1,367,736	8.3
		8.5割	46,883	20.2	2,844,763	17.3
		9割	65,201	28.1	4,803,233	29.2
	均等割を軽減されていない被保険者数		76,220	32.8	6,091,102	37.0
所得割の内訳	所得割を軽減されていない者		82,850	35.7	5,799,531	35.2
	内) 賦課限度額を超える者		2,343	1.0	247,103	1.5
	所得割軽減被保険者数		25,154	10.8	1,667,421	10.1
	所得割を賦課されていない者		124,319	53.5	9,008,987	54.7

※「後期高齢者医療制度被保険者実態調査」(第5表関係、平成28年9月30日現在)

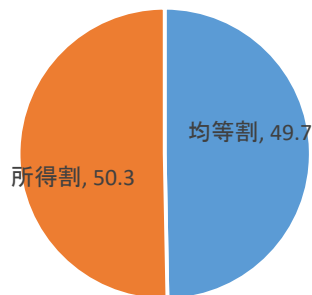


(表9) 軽減額等の状況(28年)

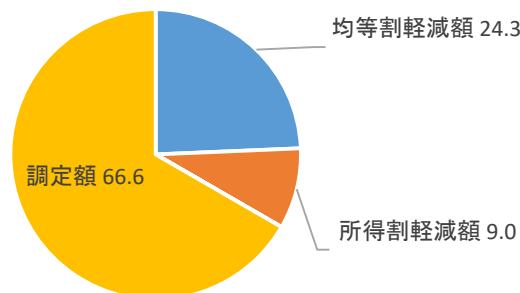
		山口県			全国			
		千円	構成割合 %	構成割合 %	千円	構成割合 %	構成割合 %	
保険料算定額①		24,505,572	100		1,775,525,601	100		
	均等割算定額		12,171,402	49.7	100.0	746,246,918	42.0	100.0
	均等割 軽減額 (再掲)	小計	5,964,272	24.3	49.0	350,034,406	19.7	46.9
		2割	233,912	1.0	1.9	12,423,208	0.7	1.7
		5割	568,274	2.3	4.7	31,026,892	1.7	4.2
		8.5割	2,087,794	8.5	17.2	110,277,693	6.2	14.8
		9割	3,074,292	12.5	25.3	196,306,613	11.1	26.3
	所得割算定額		12,334,170	50.3	100.0	1,029,278,683	58.0	100.0
	所得割輕 減額(再 掲)	小計	2,216,924	9.0	18.0	293,319,212	16.5	28.5
		所得割輕減	387,971	1.6	3.1	21,864,211	1.2	2.1
		賦課限度額を 超える	1,828,953	7.5	14.8	271,455,001	15.3	26.4
	減免等金額(再掲)		267	0.0	0.0	1,719,431	0.1	
	軽減額等合計②		8,181,463	33.4		645,073,049	36.3	
調定額(①-②)		16,324,099	66.6		1,130,452,552	63.7		

※「後期高齢者医療制度被保険者実態調査」(第5表関係、平成28年9月30日現在)

(図10) 保険料の算定内訳(%)



(図11) 保険料の軽減割合(%)



7 保健事業の実施状況

健康診査受診率、歯科健康診査受診率等の短期目標については、基準年から順調に実績が伸びている。

平成28年度における1人当たり入院医療費の割合は、平成27年度に比べ0.04ポイントの増加となっており、平均在院日数は、1日の増加となった。

(表10) データヘルス計画の実施状況

項目(指標)	基準値		27年度		28年度		29年度
			目標	実績	目標	実績	目標
健康診査受診率	H25年度	18.30%	20.00%	19.30%	21.00%	18.23%	22.00%
歯科健康診査受診率	H25年度	未実施	8.00%	5.74%	9.00%	5.66%	10.00%
長寿・健康増進事業に取り組む市町数	H26年度	4	増加	5	増加	5	増加
1人当たり入院医療費の割合	H24年度	65.11%	減少	65.31%	減少	65.27%	減少
病床への平均在院日数	H25年度	44.2日	減少	42.6日	減少	43.6日	減少
被保険者の健康寿命	H22年度	男性:70.47年 女性:73.71年	延伸	男性:71.09 女性:75.23 (H25年度)	延伸	男性:71.09 女性:75.23 (H25年度)	延伸

※病床への平均在院日数は病院報告(H29.1月分概数)を参照

(表11) データヘルス計画市町別実施状況(平成28年度)

	健康診査 受診率	歯科健康診査 受診率	長寿・健康増進 事業実施 市町数	1人当たり 入院医療費の 割合
広域全体	18.23 %	5.66 %	4	65.27 %
下関市	12.58 %	3.43 %		67.46 %
宇部市	19.00 %	4.63 %	1	63.40 %
山口市	14.01 %	5.53 %		61.92 %
萩市	16.87 %	8.12 %	1	64.96 %
防府市	19.29 %	5.99 %		63.88 %
下松市	28.95 %	13.06 %		63.28 %
岩国市	22.33 %	5.05 %		65.86 %
光市	25.65 %	7.46 %		63.05 %
長門市	10.25 %	6.95 %		70.99 %
柳井市	15.23 %	6.49 %		65.89 %
美祢市	27.06 %	9.43 %		67.87 %
周南市	21.60 %	4.32 %		65.70 %
山陽小野田市	26.95 %	5.84 %	1	65.27 %
周防大島町	11.20 %	8.05 %		65.09 %
和木町	24.73 %	10.34 %		64.44 %
上関町	11.20 %	8.20 %		72.57 %
田布施町	21.10 %	9.61 %		64.35 %
平生町	20.16 %	5.91 %	1	65.49 %
阿武町	17.18 %	4.44 %	1	68.21 %

医療費の地域差分析

○ 地域差指数（全国平均との乖離）の要因分析（平成 27 年度）

山口県の 1 人当たり医療費は、1,040 千円（対全国比 1.114）で全国 10 位であるが、年齢補正後は 1,114 千円（地域差指数※ 1.107）で全国 10 位となっている。（昨年度より 1 位上昇）

このうち入院については、579 千円（対全国比 1.259）で全国 8 位で、年齢補正後は 570 千円（地域差指数 1.239）で補正前と同じく全国 8 位となっており、昨年度と順位に変動はなかった。

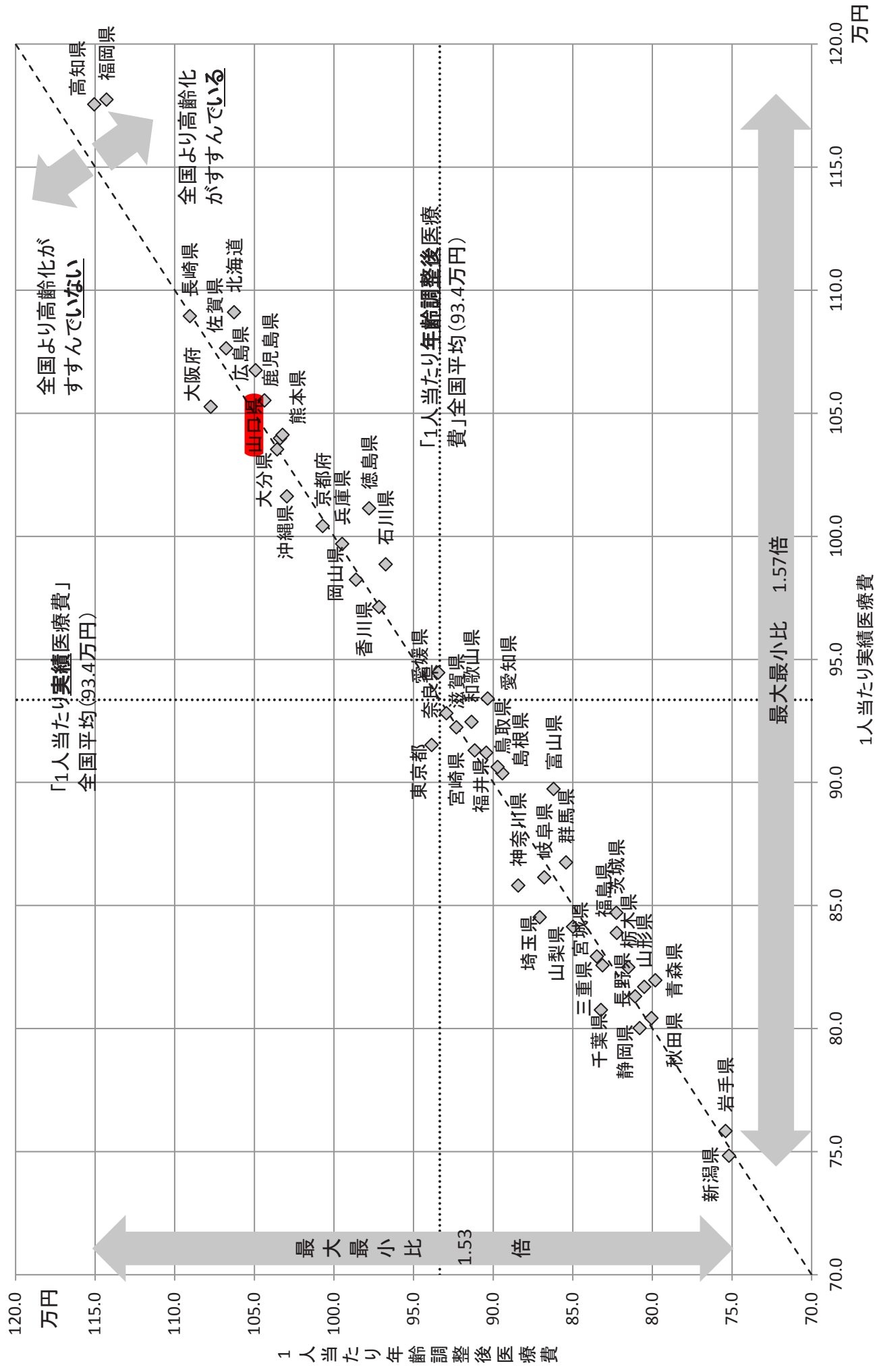
※「地域差指数」とは、地域の 1 人当たり医療費について、人口の年齢構成の相違を補正し、指数化（全国を 1）したものである。

山口県 1 人当たり医療費に係る地域差指数の乖離要因一覧

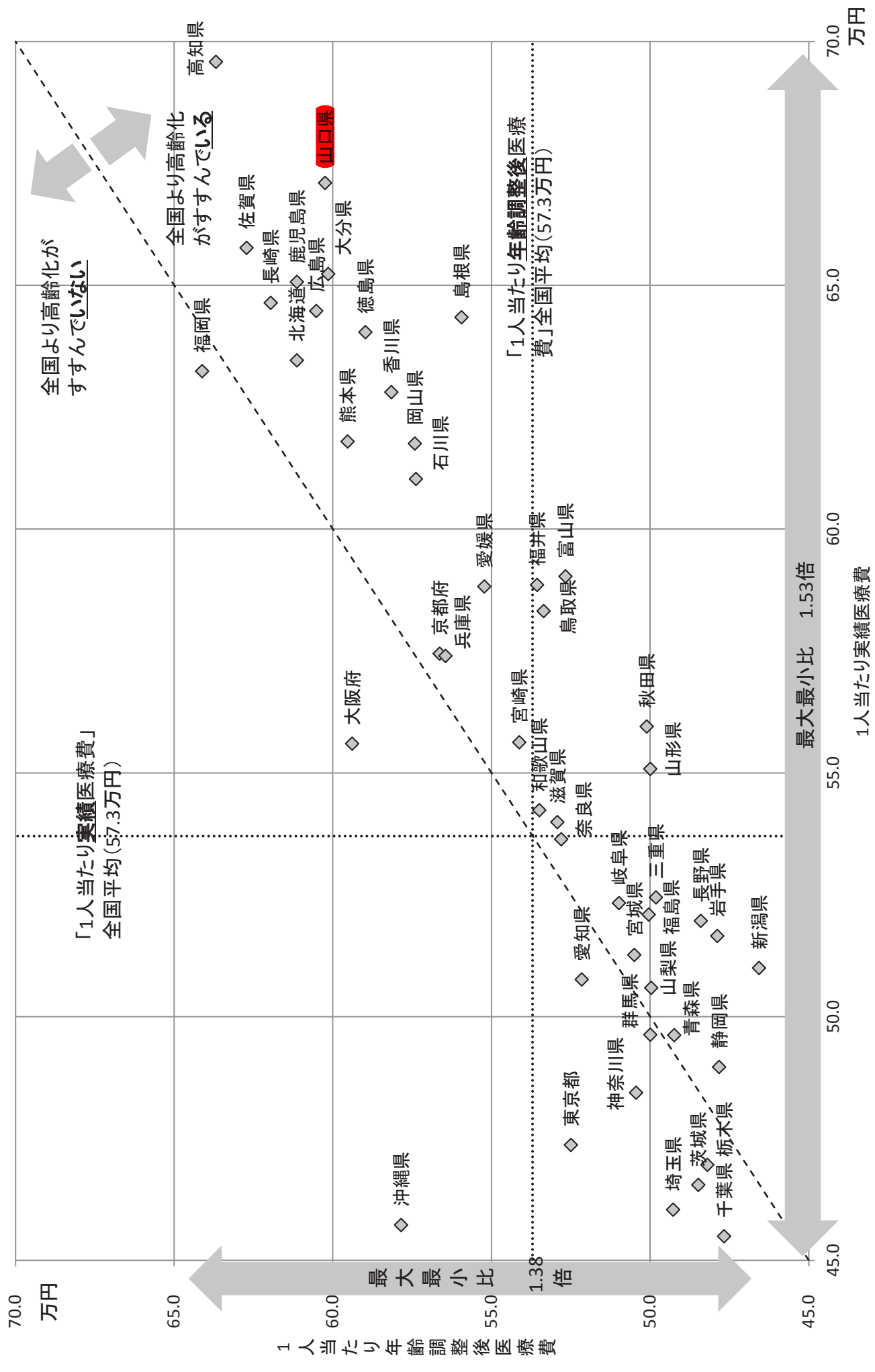
関連項目	地域差指数の要因	
	上回る要因(プラス)	下回る要因(マイナス)
a 診療種別	・入院	・入院外+調剤 ・歯科
b 年齢階級別	・すべての年代	
c 診療種別、三要素別	・受診率(入院) ・1件当たり日数(入院) ・受診率(入院外+調剤) ・1件当たり日数(入院外+調剤) ・1件当たり日数(歯科) ・1日当たり医療費(歯科)	・1日当たり医療費(入院) ・1日当たり医療費(入院外+調剤) ・受診率(歯科)

資料：「平成 27 年度医療費の地域差分析」厚生労働省保険局調査課より

(参考)都道府県別1人当たり実績医療費と1人当たり年齢調整後医療費との関係



(参考)都道府県別1人当たり実績医療費と1人当たり年齢調整後医療費との関係



平成 28 年度医療費の動向

平成 28 年度の山口県後期高齢者医療は、被保険者数の増加にも関わらず、一人当たり総額及び医療費総額ともに制度創設以来、初めての減少となった。

この現象が、本県独自のものかどうかを検証するため、全国の医療費と比較した。

1 医療費の動向

全国の医療費総額は近年、年々増加しており、28年度は初めて減少した。医療費総額は 41.3 兆円、伸び率は総計▲0.4%で、国保及び公費でマイナスの伸び率となり、全ての制度において、27年度の伸び率を下回った。

本県の医療費総額も近年、年々増加しており、28年度は全国同様に初めて減少した。医療費総額は 5,316 億円、伸び率は総計▲1.4%で、国保、後期高齢でマイナスとなり、すべての制度において 27年度の本県の伸び率及び 28年度の全国の伸び率を下回った。

(被用者保険及び公費についての県ベースのデータはないが、国保・後期高齢から逆算すると被用者保険と公費の合計の伸び率は 0.0%で、全国平均 1.0%を下回っている。)

表 1 医療費総額

	年度	総計	被用者 保険	国民健康 保険	後期高齢	公費 (生保)
全国 (兆円)	24年度	38.4	11.1	11.6	13.7	2.0
	25年度	39.3	11.3	11.8	14.2	2.0
	26年度	40.0	11.6	11.8	14.5	2.0
	27年度	41.5	12.2	12.0	15.2	2.1
	28年度	41.3	12.3	11.5	15.3	2.1
山口県 (億円)	24年度	5,107	－	1,420	2,232	－
	25年度	5,186	－	1,435	2,288	－
	26年度	5,251	－	1,451	2,317	－
	27年度	5,395	－	1,483	2,380	－
	28年度	5,316	－	1,417	2,367	－

注) 全国の数値は、厚労省「医療費の動向」表 1-1 (診療報酬請求ベース)

山口の数値は、国保連合中央会「医療費速報」表 4 (診査確定ベース)

表 2 医療費総額伸び率 (対前年比)

単位: %

	年度	総計	被用者 保険	国民健康 保険	後期高齢	公費 (生保)
全国 (兆円)	24年度	1.7	1.2	0.7	2.8	2.4
	25年度	2.2	1.6	1.1	3.7	2.3
	26年度	1.8	2.6	0.4	2.3	1.7
	27年度	3.8	4.9	1.8	4.6	3.4
	28年度	▲ 0.4	1.3	▲ 4.2	1.2	▲ 0.9
山口県 (億円)	24年度	1.4	－	1.1	1.6	－
	25年度	1.6	－	1.1	2.5	－
	26年度	1.3	－	1.1	1.3	－
	27年度	2.7	－	2.2	2.7	－
	28年度	▲ 1.4	－	▲ 4.5	▲ 0.5	－

2 一人当たり医療費の動向

全国の1人当たり医療費は近年、年々増加しており、28年度は初めて減少した。28年度の国保及び被用者保険は若干の伸び、後期高齢はマイナスの伸びとなった。

本県の1人当たり医療費のうち、国保については28年度伸び率0.2%と前年を大きく下回った。後期高齢については、28年度に初めてマイナスの伸び率となった。（24年度の速報値では▲0.0となっているが、医療費年報数値は0.1%となっている。）

表3 1人当たり医療費 (単位:万円)

	年度	総計	被用者 保険	国民健康 保険	後期高齢
全国 (円)	24年度	30.1	15.1	30.5	91.5
	25年度	30.8	15.3	31.4	92.7
	26年度	31.4	15.6	32.2	93.1
	27年度	32.7	16.3	33.9	94.8
	28年度	32.5	16.3	33.9	93.0
山口県 (億円)	24年度	－	－	38.5	100.6
	25年度	－	－	39.7	102.3
	26年度	－	－	40.9	103.1
	27年度	－	－	43.2	104.5
	28年度	－	－	43.3	101.8

注) 全国の数値は、厚労省「医療費の動向」表2-1、表2-2

山口の数値は、国保連合中央会「医療費速報」表3-1

表4 1人当たり医療費伸び率(対前年比) (単位:%)

	年度	総計	被用者 保険	国民健康 保険	後期高齢
全国 (円)	24年度	1.9	1.3	2.3	▲ 0.1
	25年度	2.4	1.3	2.9	1.3
	26年度	2.0	2.0	2.8	0.4
	27年度	3.8	4.0	5.1	1.9
	28年度	▲ 0.4	0.4	0.1	▲ 2.0
山口県 (億円)	24年度	－	－	2.5	0.0
	25年度	－	－	3.1	1.6
	26年度	－	－	3.3	0.8
	27年度	－	－	5.6	1.4
	28年度	－	－	0.2	▲ 2.6

(参考) ○ 都道府県別・28年度医療費伸び率の状況

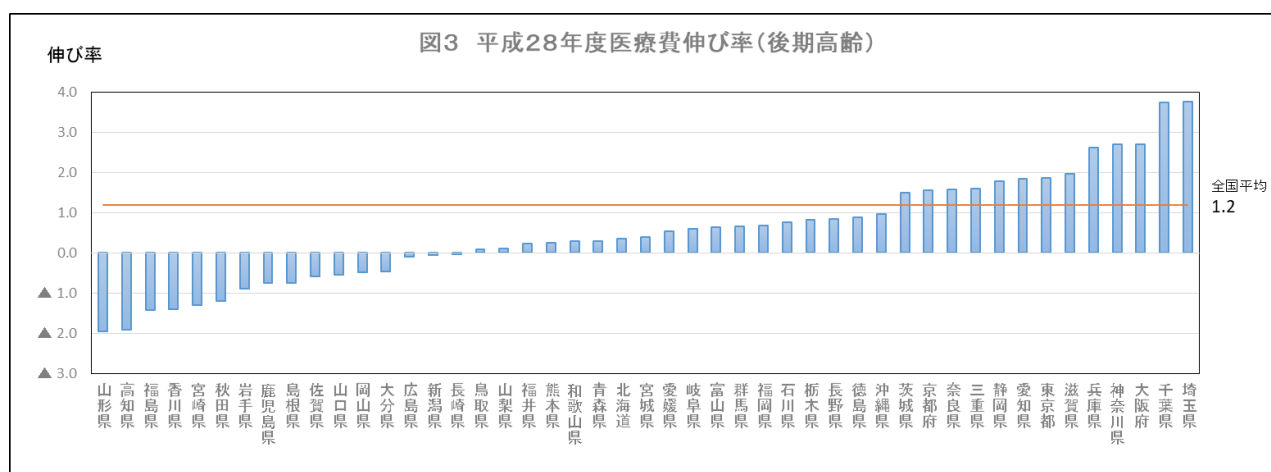
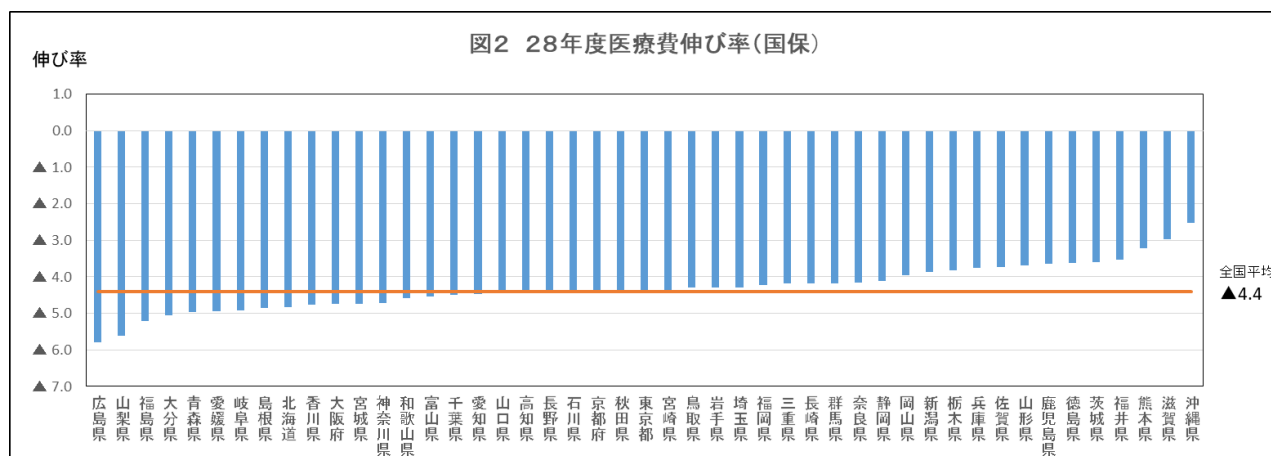
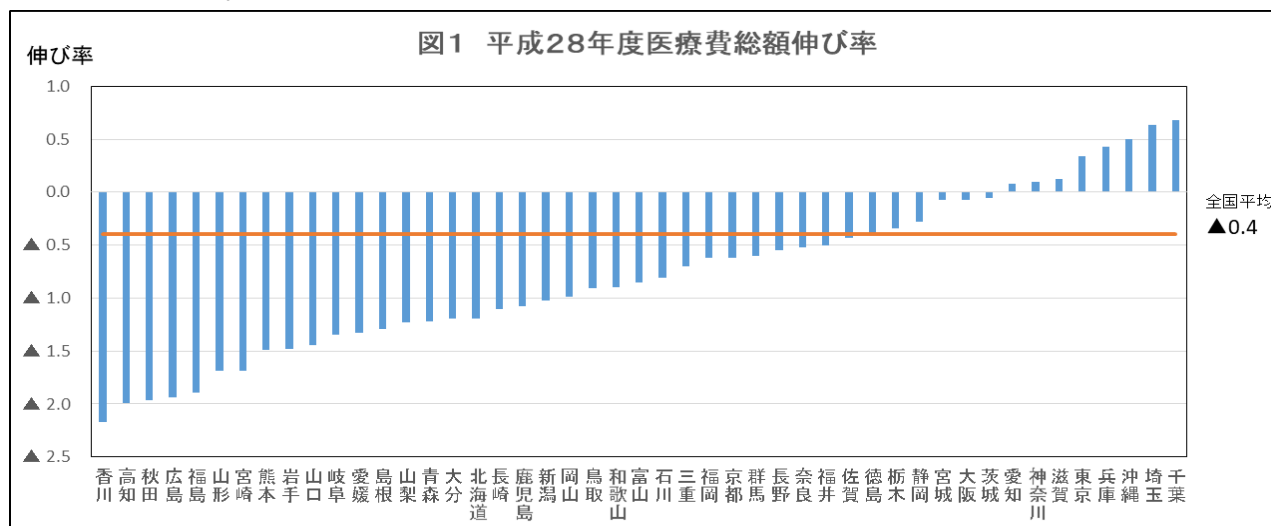
平成28年度の都道府県別医療費の対前年伸び率は、図1から3のとおりである。

本県の伸び率は、医療費総額 ▲1.4% (全国▲0.4%、伸び率の小さい方から第10位)

国保医療費 ▲4.5% (全国▲4.4%、〃 18位)

後期高齢医療費 ▲0.5% (全国+1.2%、〃 11位)

となっている。



○ 平成28年度・1人当たり医療費の伸び率（国保・後期高齢）

国保及び後期高齢における都道府県別の状況は、図4及び図5のとおりであり、本県の状況は、国保 +0.2%（全国0.1% 伸び率の小さいほうから34位）
後期高齢 ▲2.6%（全国▲2.0% 〃 7位）となっている。

図4 平成28年度一人当たり医療費伸び率(国保)

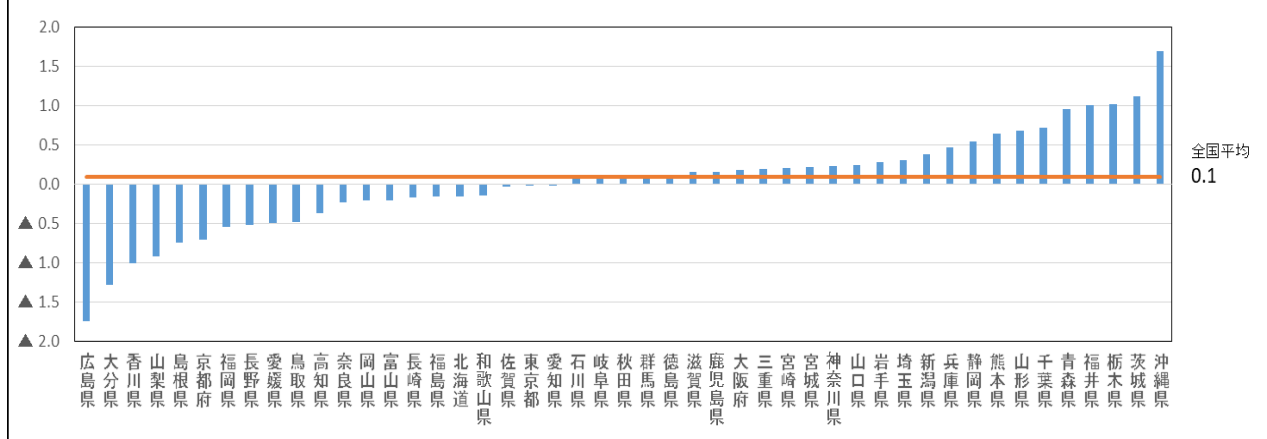
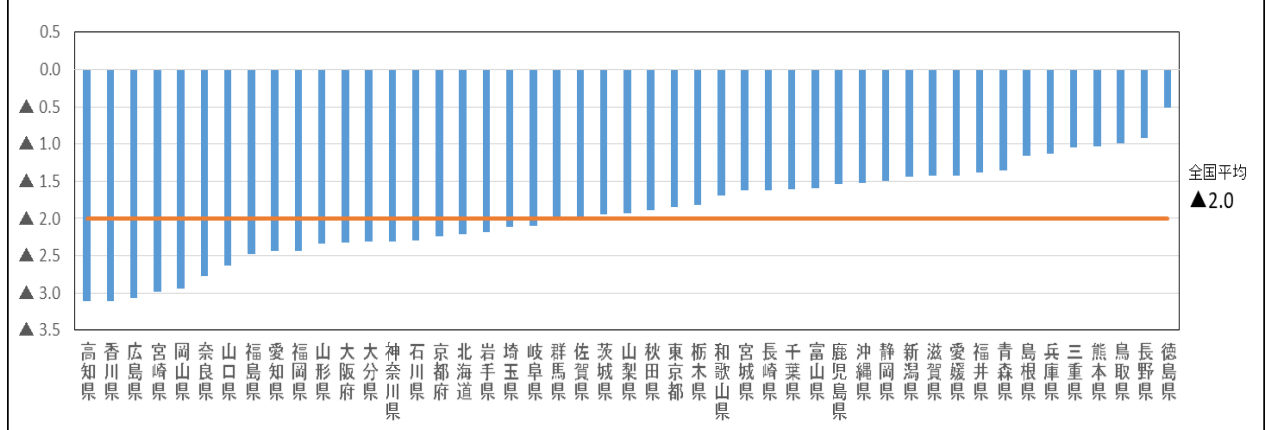


図5 平成28年度一人当たり医療費伸び率(後期高齢)



3 診療種別・医療費の動向

平成28年度医療費の伸び率を診療種別にみると、全国は総計、入院外、調剤でマイナス、本県は総計、入院外、調剤に加えて入院もマイナスとなっている。

全国の医療費伸び率がマイナスとなるのは、近年はじめての現象であり、その理由については次のとおりとされている。

医療費の伸び率については、平成27年度はC型肝炎治療薬の抗ウイルス剤の薬剤料の大幅な増加により高い伸び率となったのに対し、平成28年度は診療報酬改定のほか、抗ウイルス剤の薬剤料の大幅な減少等により一時的にマイナスとなったと考えられる。

(平成29年9月15日、厚生労働省「平成28年度医療費の動向」公表文)

表5 医療費総額（診療区分別）

単位：億円

	年度	総 計	医科計			歯科	調剤	訪問看護 療養	(参考) 医科入院外 + 調剤
			医科入院		医科入院外				
全国計	24	384,074	289,646	155,824	133,823	26,950	66,431	1,047	200,254
	25	392,556	293,806	157,774	136,032	27,174	70,380	1,196	206,412
	26	399,556	298,220	160,450	137,770	27,951	71,987	1,398	209,758
	27	414,627	305,912	163,573	142,340	28,329	78,746	1,639	221,085
	28	412,865	307,243	165,444	141,799	28,746	74,953	1,923	216,752
山口	24	5,107	3,951	2,362	1,589	293	850	13	2,439
	25	5,186	3,972	2,375	1,597	296	903	14	2,501
	26	5,251	4,011	2,404	1,607	302	923	16	2,530
	27	5,395	4,073	2,427	1,646	303	1,002	17	2,648
	28	5,316	4,052	2,423	1,628	307	939	19	2,567

注)数値は、厚労省「医療費の動向」表29-1(診療報酬請求ベース)

表6 医療費総額の伸び率（診療区分別）

単位：%

	年度	総 計	医科計			歯科	調剤	訪問看護 療養	(参考) 医科入院外 + 調剤
			医科入院		医科入院外				
全国計	24	1.7	1.8	2.5	1.0	1.4	1.3	19.0	1.1
	25	2.2	1.4	1.3	1.7	0.8	5.9	14.3	3.1
	26	1.8	1.5	1.7	1.3	2.9	2.3	16.9	1.6
	27	3.8	2.6	1.9	3.3	1.4	9.4	17.3	5.4
	28	▲ 0.4	0.4	1.1	▲ 0.4	1.5	▲ 4.8	17.3	▲ 2.0
山口	24	1.4	1.7	3.2	▲ 0.3	1.3	▲ 0.1	11.8	▲ 0.3
	25	1.6	0.5	0.5	0.5	1.2	6.2	11.5	2.5
	26	1.3	1.0	1.2	0.6	1.7	2.2	11.8	1.2
	27	2.7	1.5	0.9	2.5	0.4	8.5	9.1	4.7
	28	▲ 1.4	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.1	1.3	▲ 6.2	7.9	▲ 3.0

本県のC型肝炎に係る後期高齢者医療費は表7のとおりで、27年度医療費は23億円余りで前年伸び率376.9%と大きく伸び、28年度は13億円余りで▲42.6%と27年度の反動で減少しており、全国同様の傾向となっている。

表7 C型肝炎に係る医療費の状況（山口県後期高齢者医療）

単位：千円、%

年度	合計		入院		入院外	
		伸率		伸率		伸率
26年度	505,199		97,815		407,384	
27年度	2,363,646	367.9	129,193	32.1	2,234,452	448.5
28年度	1,357,105	▲ 42.6	82,032	▲ 36.5	1,275,073	▲ 42.9

注)国保データベースから集計

山口県高齢者医療懇話会

「データからみた山口県後期高齢者の現状と保健事業について」

1. 本日の内容

山口県の後期高齢者の現状

- ・ 政府・県の統計
- ・ KDBシステムによるレセプト等のデータ集計

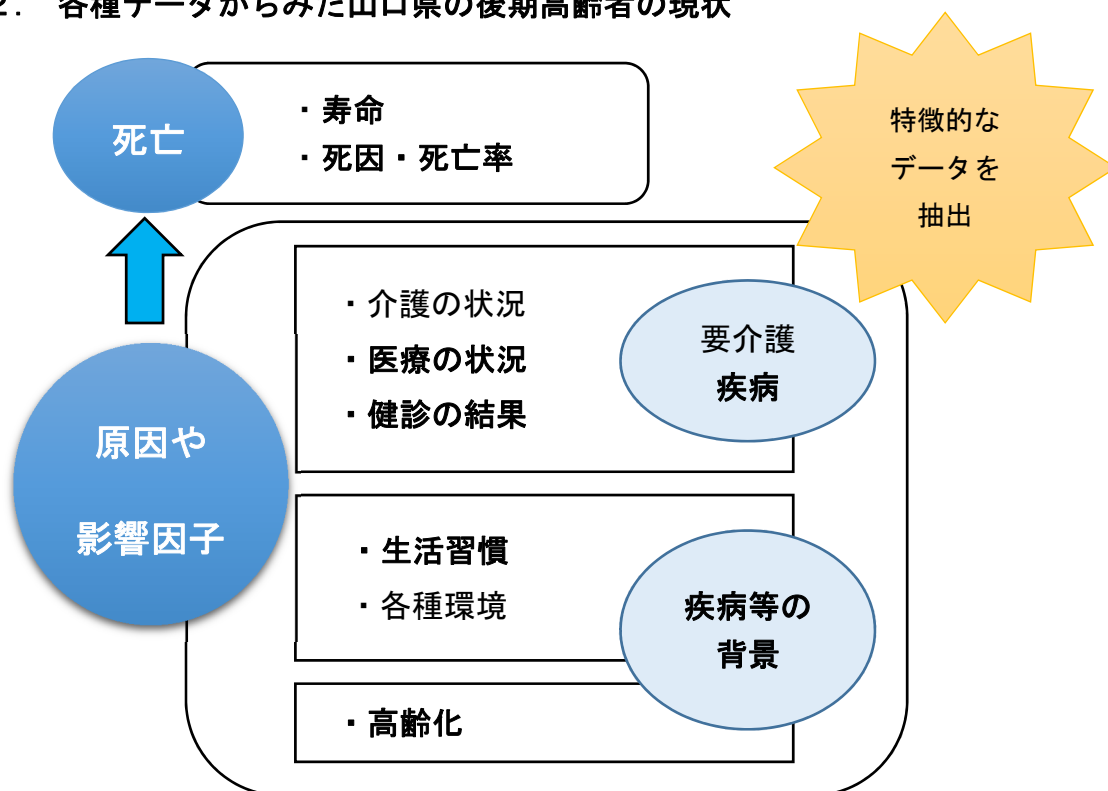
国による後期高齢者の保健事業の方向性

- ・ 厚生労働省：高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン（暫定版）

山口県の後期高齢者に対する保健事業について

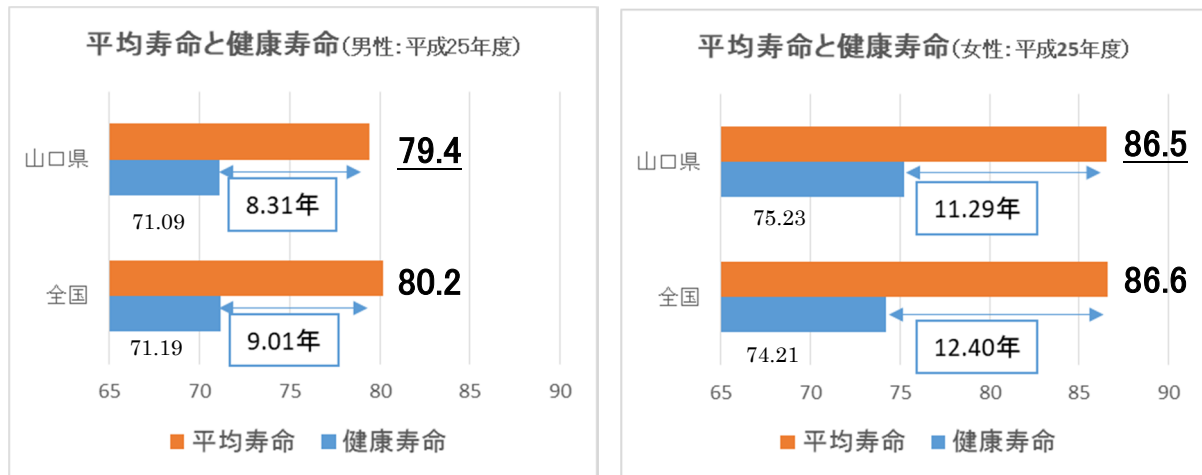
- ・ 山口県の後期高齢者に対する保健事業

2. 各種データからみた山口県の後期高齢者の現状



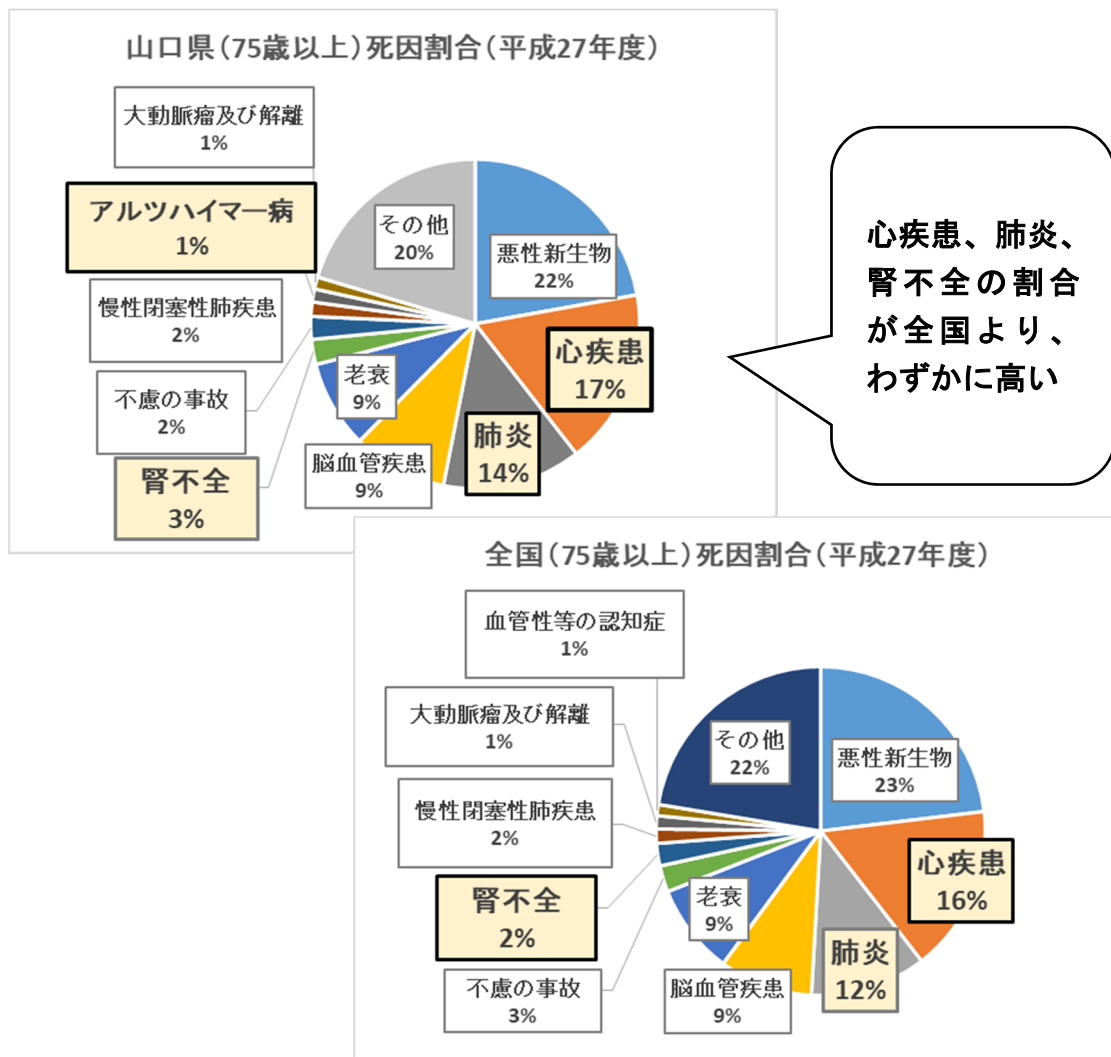
1) 寿命・死亡

○平均寿命(平成25年):男女とも全国より短い(全国順位:男性 41位、女性 27位)。
しかし、日常生活に制限のある期間は全国より短い。



(平成27年度厚生労働科学研究費補助金「健康寿命の指標化に関する研究—健康日本21(第二次)等の健康寿命の検討—」)

○死因(75歳以上)の順位:全国とほぼ同様。



(平成27年山口県保健統計年報)

○年齢調整死亡率（全国で上位）：肺炎の死亡率は、男女ともに**全国 2 位**。

平成27年度 主な死因の年齢調整死亡率(人口10万人対)

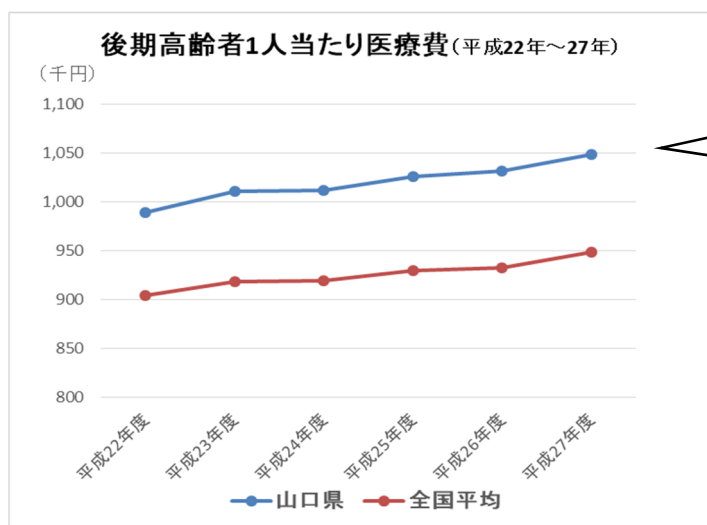
	男		女	
	率	順位	率	順位
全死因	500.1	15	264.1	10
悪性新生物	167.0	18	91.7	6
心疾患	70.8	13	38.3	9
脳梗塞	18.9	18	9.3	23
肺炎	46.2	2	20.2	2
慢性閉塞性肺疾患	7.8	22	1.3	4
肝疾患	10.0	15	3.8	10
腎不全	8.8	6	4.3	18
糖尿病	6.6	9	2.0	37

男性では腎不全、
糖尿病も上位。
女性ではがん、心
疾患、慢性閉塞性
肺疾患も上位。

(平成 27 年厚生労働省人口動態特殊報告)

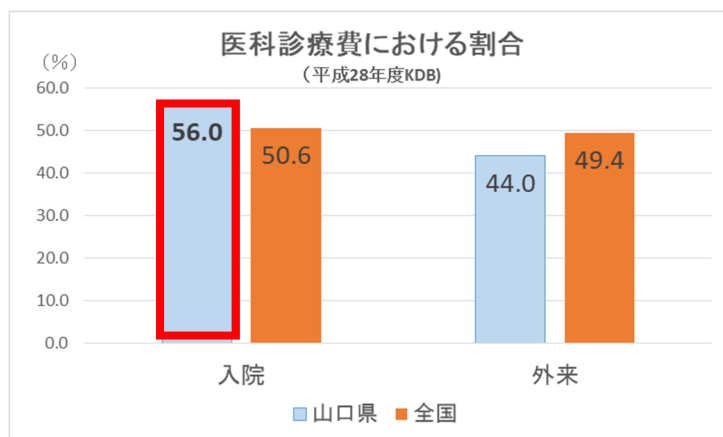
2) 医療・健診

○医療費：全国平均と比較して高い。特に入院の割合が高い **入院割合 56.0%**



全国順位
第 10 位

(平成 27 年度後期高齢者医療事業報告)



○受療率（平成 26 年度、人口 10 万人対）：入院・外来ともに全国と比較して高い。

【入院】	山口県	1,745（第 5 位）	全国	1,038
【外来】	山口県	6,502（第 8 位）	全国	5,696

県人口の
1.7%が入院、
6.5%が外来
受診

（平成 26 年度患者調査）

○疾病別の受療率上位・・・入院で脳血管疾患、糖尿病、虚血性心疾患
外来で脳血管疾患、糖尿病

山口県の主要疾患の人口 10 万対の受療率と全国順位

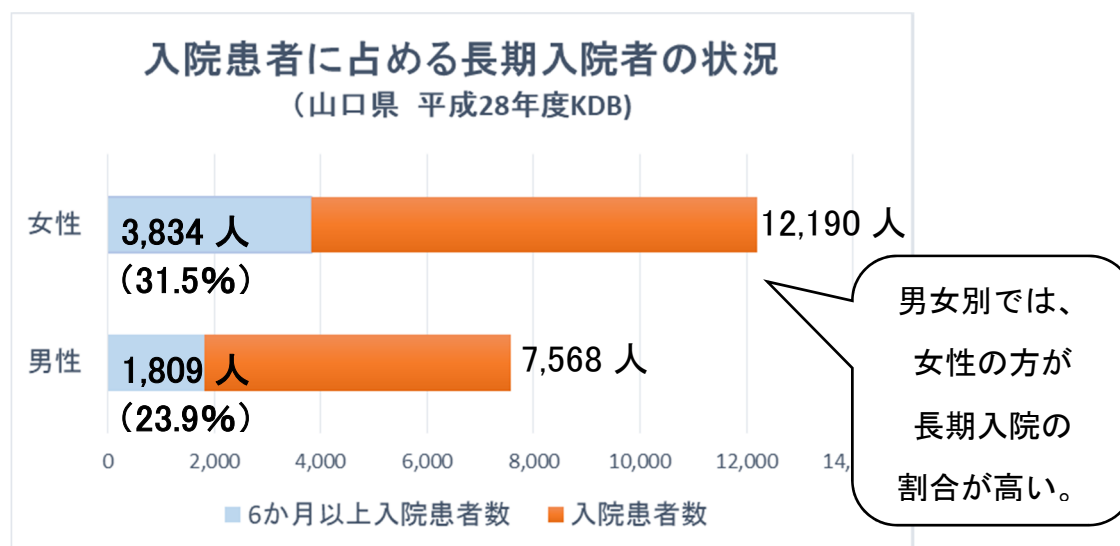
		脳血管疾患		虚血性心疾患		糖尿病	
		受療率	順位	受療率	順位	受療率	順位
入院	山口県	232	3 位	16	7 位	34	3 位
	全国	125	-	12	-	16	-
外来	山口県	93	11 位	43	27 位	196	15 位
	全国	74	-	47	-	175	-

（平成 26 年度患者調査）

○入院患者の状況：被保険者の **8.4%** が入院している（全国は 6.5%）。

在院日数は 20.1 日（全国は 17.7 日）。（平成 28 年度 KDB）

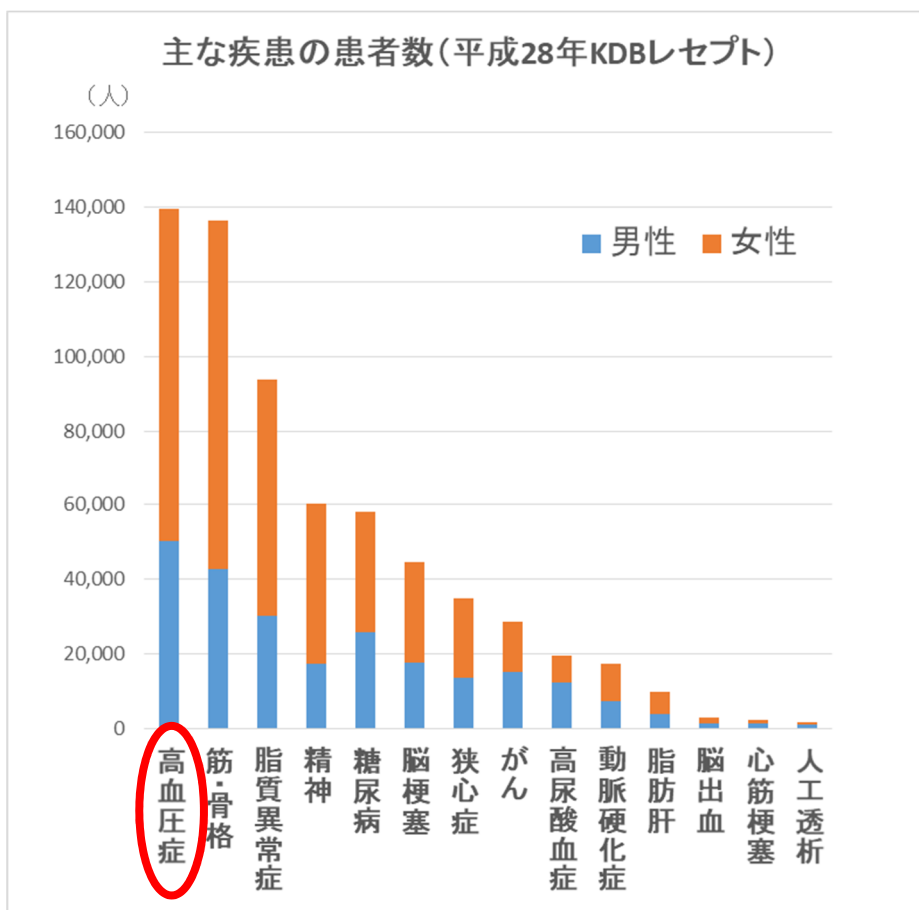
○長期入院の状況：入院患者のうち **長期入院者の割合は 28.6%**（全国は 18.9%）。



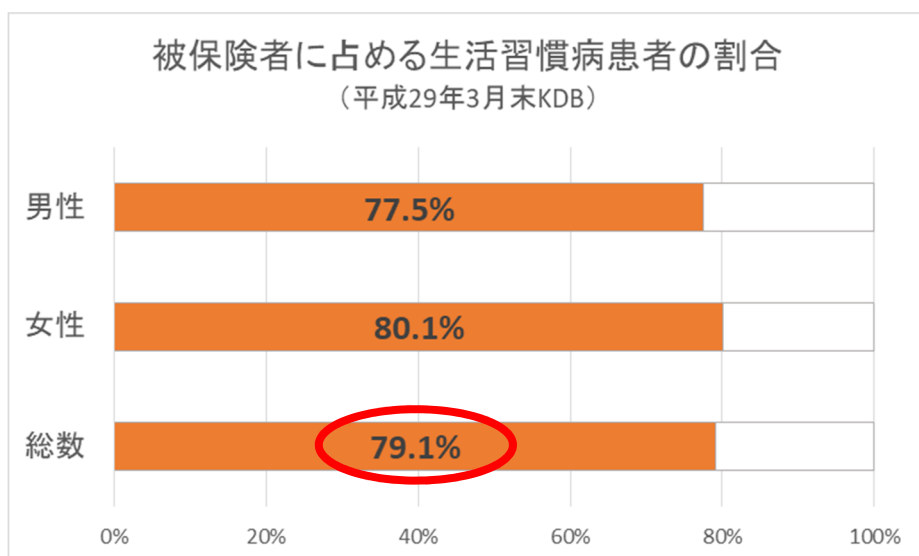
○患者数：総患者数は、202,338人（**被保険者の85.6%**）。

上位5位は、高血圧症、筋骨格系疾患、脂質異常症、精神、糖尿病。

被保険者の患者に占める高血圧症の割合は68.9%。



○生活習慣病保有率：被保険者に占める生活習慣病患者の割合は79.1%。



○健診有所見者：健診受診者に占める**有所見者の割合は59.5%**。

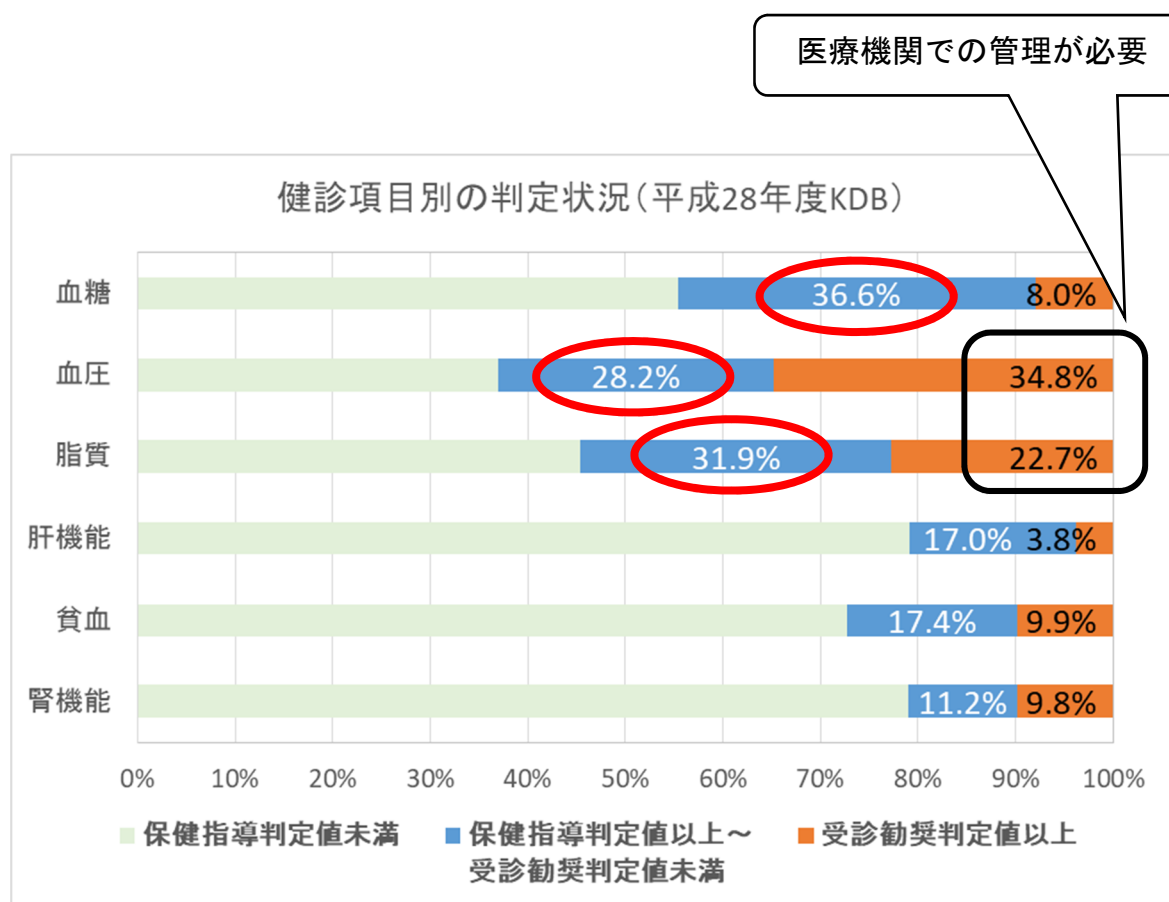
※ただし、健診受診者の93.8%が生活習慣病で医療機関を受診中。

健康診査における有所見者数の推移(平成24年～28年)				
年度	受診者数(人)	異常なし又は 保健指導判定値 (人)	受診勧奨判定値 (人)	有所見者の割合
平成24年度	36,487	14,253	22,234	60.9%
平成25年度	34,491	13,030	21,461	62.2%
平成26年度	35,442	13,493	21,949	61.9%
平成27年度	36,594	14,764	21,830	59.7%
平成28年度	34,782	14,103	20,679	59.5%
*KDBシステム「健診状況」				

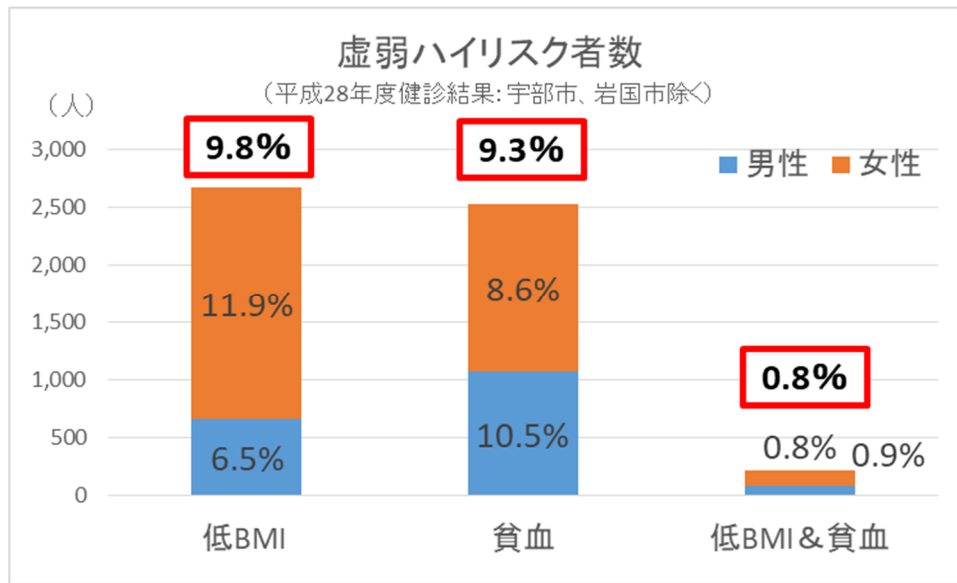
○健診項目別判定値の状況

受診勧奨値以上で割合が比較的高い項目・・・「血圧」「脂質」

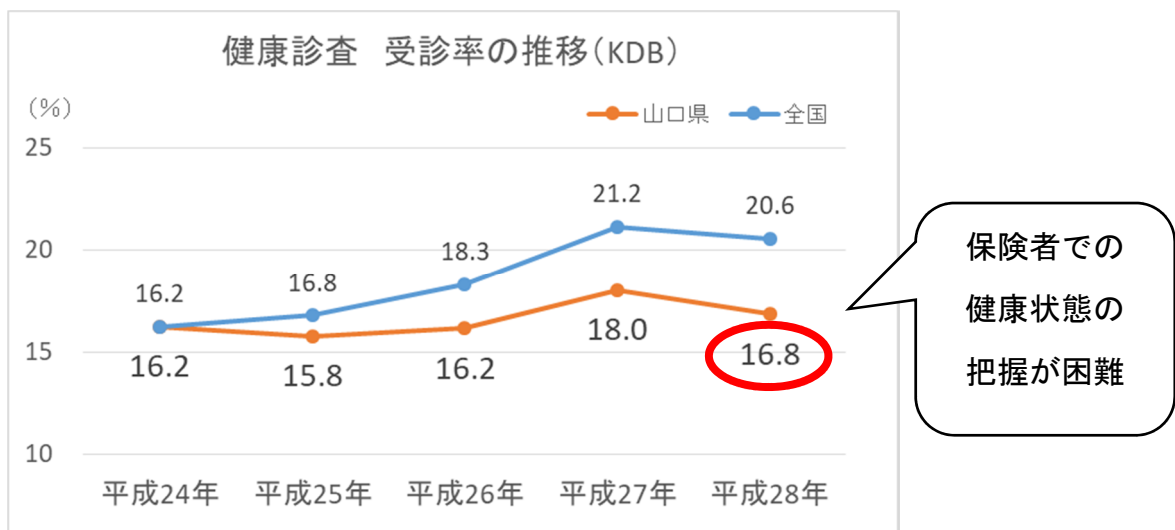
保健指導判定値以上で割合が比較的高い項目・・・「血糖」「脂質」「血圧」



○虚弱ハイリスク者：健診者受診者の1割程度が低BMI（やせ）または貧血。



○健診受診率：健診受診率が継続的に低い(16.8%)



○健康状態不明者の状況：健診未受診かつ医療機関未受診者は、**約 8,700 人。**

健康診査の受診状況(平成28年度)				単位: 人	
健診対象者	健診の受診		医療機関への受診		
206,489	あり	34,782	あり	34,331	
			なし	451	
	なし	171,707	あり	162,977	
			なし	8,730	
			*KDBシステム「健診状況」		

受診勧奨対象者
295 人

健康状態
不明者

3) 生活習慣

○食事・運動・嗜好等：全国平均との差がある項目がある。

食事・・・タンパク質摂取、野菜の摂取が少ない（80歳以上、全国は75歳以上）。

運動・・・運動習慣のある者の割合が少ない（65歳以上）。

嗜好等・・・習慣的飲酒者の割合が高い（70歳以上）。

生活習慣の状況（平成27年度）

		性別	山口県	全国
食 事	タンパク質摂取量 (g/日)	男性	67.3	70.2
		女性	54.2	62.4
	野菜摂取量 (g/日)	男性	265.4	304.3
		女性	257.0	289.1
運 動	運動習慣のある者の 割合 (%)	男性	33.8	52.5
		女性	24.2	38.0
嗜 好	習慣的飲酒者の割合 (%)	男性	30.8	25.5
		女性	1.4	1.5

（平成27年山口県健康栄養調査、平成27年国民健康栄養調査）

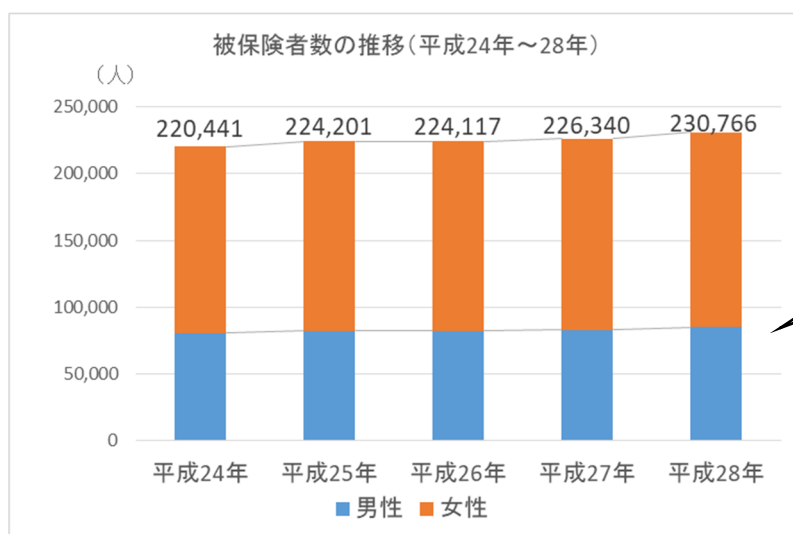
●健診の質問票調査でも・・・

「1日1時間以上運動なし」の割合が全国より低い
(男性 47.8% 女性 54.5%)

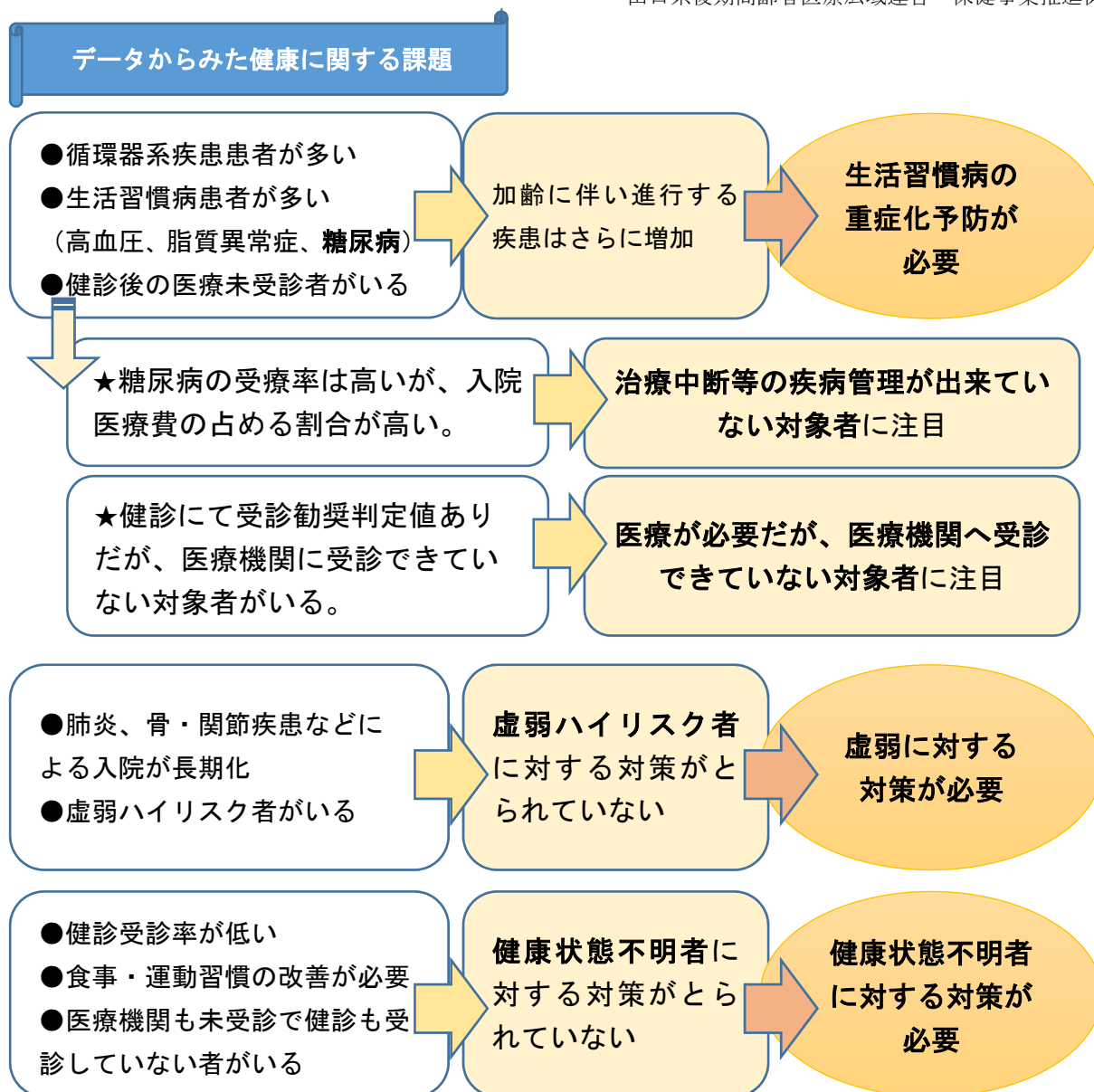
「お酒を飲まない」の割合が全国より低い
(男性 38.3% 女性 79.3%)

4) 高齢化

○高齢化率：平成27年の高齢化率は32.2%（全国より5.4ポイント高い）。



被保険者数も
年々増加



3. 国による後期高齢者の保健事業の方向性

(高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドラン(暫定版)より)

○国より**後期高齢者の特性**に応じた保健事業のあり方が示された。

平成 29 年 3 月

「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドラン(暫定版)」

【目的】

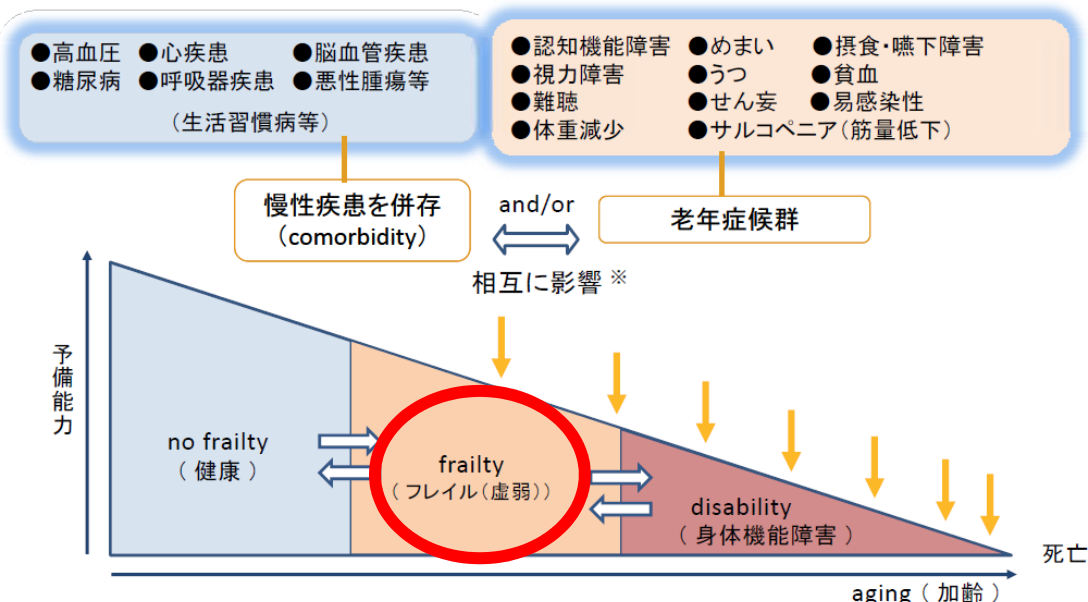
後期高齢者(被保険者)の健康保持増進と心身機能低下防止を図り、
結果として医療費の適正化に資すること

高齢者の特性とは

- ・ 前期高齢者と比べ、加齢に伴う虚弱的な状態であるフレイルが顕著に進行
- ・ 複数の慢性疾患を保有し、老年症候群の症状が混在するため、
包括的な疾病管理がより重要
- ・ 医療のかかり方として、多機関受診、多剤処方、残薬が生じやすい
- ・ 健康状態や生活機能、生活背景等の個人差が拡大

フレイルの概念

葛谷雅文：日老誌(2009)をもとに、
著者の許可を得て本研究班で改変



「フレイル」については、学術的な定義がまだ確定していないため、本報告書では、「加齢とともに、心身の活力(運動機能や認知機能等)が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱化が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」と定義している。

※ 現時点では、慢性疾患のフレイルへの関わりが十分なエビデンスの基に構築されているわけではないことに留意が必要。

○特性を踏まえた保健事業（従来との違い）

- ① 体重や筋肉量の減少を主因とした低栄養等の虚弱（フレイル）に着目
- ② 生活習慣病の発症予防というよりは、重症化予防等の取り組みを重視
- ③ 再入院防止、多剤による有害事象の防止（服薬管理）を重視
- ④ 対象者1人1人に応じた個別の介入支援に取り組むことが適当とされる

データ等から被保険者の健康状態を分類し、
状態別の集団特性に応じた保健事業を提供することが求められる

4. 山口県の後期高齢者に対する保健事業の方向性

注目すべき対象者	目的と保健事業（案含む）
●生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病等）の未治療者 ●健診にて受診勧奨判定値ありだが、医療機関未受診者 ●糖尿病の治療歴があるが、現在糖尿病治療を中断している者 ●健診にて腎機能障害のハイリスク判定（*）の者 （*）平成 30 年度より健診項目を追加し、対象者を抽出（クレアチニン値）	目的：生活習慣病の重症化予防 「重症になる前に、医療機関で適切に病状を管理してほしい！」 医療機関への受診勧奨 医療機関の受診支援（相談・指導）
●低栄養者、肺炎ハイリスク者 ●健診にて、低 BMI、貧血、口腔機能低下、栄養不良（**）の判定者 （**）平成 30 年度より健診項目を追加し、対象者を抽出（アルブミン値）	目的：虚弱の防止 「肺炎、骨折等を予防したい！」 市町の実施事業補助 ・栄養・運動指導 ・口腔ケア指導 ・医療機関への受診勧奨 ・栄養改善等の情報提供
●健康状態不明者 ●医療機関未受診かつ健診未受診者	目的：虚弱の防止 「支援が必要な対象者を見つけたい！」 健診の受診勧奨